

世界文化遺産登録を目指して

縄文時代は今から約1万2～3千年前に始まり、日本で本格的な稲作が始まる弥生時代の開始まで、約1万年もの間つづきました。

青森県は、県内各地に**3千を超える**縄文時代の遺跡が存在し、そのうち**7遺跡が国指定史跡**となっているなど、極めて文化価値の高い地域なのです。

中でも青森市の「三内丸山遺跡」は、大型掘立柱建物跡や数多くの栽培植物の種子、装飾品が出土し、発掘が進むにつれ、全国に衝撃を与えて一躍有名になり、平成12年に**国の特別史跡に指定**されました。

また、八戸市の「風張1遺跡」から出土した「**合掌土偶**」は、座って正面で手を合わせ指を組んだ姿勢で他に例がないこと、他の土偶より精巧に作られ、住居の片隅に置かれた状態で出土した例は非常に少ないことなどから、平成21年に**国宝に指定**されました。

こうした縄文人の**驚くほど豊かな暮らしぶりや精神性は、従来の縄文時代のイメージをことごとく覆しました。**

三内丸山遺跡の ピカイチ!

大きい!

- ◆面積35ha、日本最大級の縄文集落跡!
- ◆直径1mのクリ巨木6本の巨大な柱穴!
- ◆高さ32cmの板状土偶は国内最大級!
- ◆長さ32mの大型竪穴住居跡!

ハイク!

- ◆竪穴住居跡や大人・子どもの墓、道路跡など、**施設配置に計画性があり、1,500年間にも及ぶ長期間の定住生活を送った!**
- ◆大型掘立柱建物の**柱穴は直径・深さとも2メートル、間隔は全て4.2m**。測量技術が備わっていた?
- ◆ヒョウタンやゴボウなどの**栽培植物の種子が出土し**、DNA分析により**クリの栽培も明らかに!**
- ◆**赤漆塗りの木製皿や赤色顔料**が発見、高い技術を持っていた!



遠くから!

- ◆**新潟県糸魚川市周辺**のヒスイや**長野県産**の黒曜石、岩手産のコハクなどを数多く出土。
数百キロも離れた地域の人々と交流していた!

青森県の縄文遺跡は、縄文時代の各時期の文化を今に伝えるものとして学術的に重要なだけでなく、日本という枠を超え、世界の宝として残すべき貴重な文化遺産なのです。

—青森県の縄文—



北海道から北東北は、全国に約5万カ所ある縄文遺跡のうち約6割が分布する、まさに「**縄文遺跡の宝庫**」です。この貴重な宝を未来に残すため、青森県は、北海道、岩手県、秋田県と協力し、青森県の8遺跡を含む15遺跡で構成する「**北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群**」の**世界文化遺産登録**を目指しており、平成21年1月にはユネスコの「**世界遺産暫定一覧表**」に記載されました。

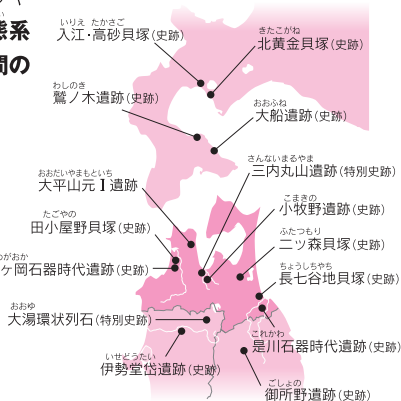
世界遺産白神山地のブナ原生林は、縄文時代に形成されたといわれています。縄文文化は、母なるブナの森の恵みを受けながら、クリや植物の栽培、狩り、漁をバランスよく行い、**生態系を守る**ことによって、**豊かな生活を送り、長期間の繁栄を維持**することができたのです。

自然に感謝し、自然と共に生ずるという縄文の暮らしには、現代に生きる私たちが学ぶべきことがたくさんあります。日本の基礎をつくった**縄文文化**を、**私たちの手で守り、未来へ繋いでいきましょう！**



JOMON
AOMORI
Our World Heritage Aomori

青森の縄文を
世界遺産に



「北海道・北東北の縄文遺跡群」(15遺跡)

時代	青森県	北海道	岩手県	秋田県	世界の出来事
今から 約13,000年前	旧石器時代				北京原人の活躍 ラスコー洞窟壁画(フランス)
約9,000年前	縄文時代 早期	大平山元I遺跡 (外ヶ浜町)			
約6,000年前	縄文時代 前期	長七谷地貝塚 (八戸市)			長江下流域で稲作の始まり(中国)
約5,000年前	縄文時代 中期	三内丸山遺跡 (青森市) 田小屋野貝塚 (つがる市) 二ツ森貝塚 (七戸町)	北黄金貝塚 入江・高砂貝塚	大船遺跡 御所野遺跡	中国文明の始まり メソポタミア文明の始まり ストーンヘンジ(イギリス) クフ王のピラミッド(エジプト) インダス文明の始まり モヘンジョダロ(パキスタン)
約4,000年前	縄文時代 後期	小牧野遺跡 (青森市)	鷺ノ木遺跡	大湯環状列石 伊勢堂岱遺跡	ハンムラビ法典 殷王朝の成立(中国) ツタンカーメン王即位(エジプト)
約3,000年前	縄文時代 晩期	是川石器時代遺跡 (八戸市) 亀ヶ岡石器時代遺跡 (つがる市)			春秋時代(中国) バルテノン神殿(ギリシャ) 万里の長城(中国)
約2,300年前					

資料：県教育庁文化財保護課